

第1回ドネパのエントリー団体より 「ありがとうレポート」

寄付金をいただけなければ、せっかくお借りした写真や資料も見づらい白黒の印刷になっていたと思います。記念誌を見て下さった方、とりわけ、聴覚障害者の方が、懐かしい写真に見入って思い出話に花を咲かせておられる姿を見て、私たちも「グレードアップしてよかった！」と嬉しい気持ちになりました。やはりカラー印刷というのは見てわかる工夫の1つなのだと再認識しました。

あゆみの会を応援して下さった皆様の気持ちにこたえるべく、これからも地域に根ざした活動を続け、聴覚障害者の方々と共に「あゆむ」「あゆみの会」でありたいと思います。

あゆみ

今回購入した体重体組計を活用され、利用される方々が少しでも自分の体について考える機会になればと考えております。

物品は大切に活用させていただきます。

ご寄付をして頂いた皆さま、ありがとうございました。

くじら

なんと言っても会員全員が音声訳奉仕者として意欲があり、技術向上を目指している人ばかりです。各々の得意分野で力を発揮しております。写真は、老人福祉施設、グループホームで一緒に楽しんでいる一コマですが、毎回新しい発見や喜びがあり、介護にかかわっておられるプロの方達から「あの人が大きな声を出して一緒に歌ったよ」とか「あら！身体全体の動かして表情が違ってきた」とか、とても嬉しい言葉を聞くことができます。全員自身励みとなり、今後も続けて頑張ろうという元気をいただいています。

どんぐり

今まであった視聴覚センターからの補助が今年からなくなり、自己負担が増えていく中で、少しでも会員の負担を減らすことができよかったです。

陶芸では、手の感触を楽しんでもらい、つくる喜び、できあがった時の喜びをみんなに分ち合い、いつまでも残るもので喜ばれました。次は是非傑作の展示会を！！

竹の子会

子どもチャレンジ支援機構の活動については、基本的には会員の会費及び参加者の負担金によって活動をしているため、会議打合わせや活動計画の打合わせ会を会場使用料が余りかからない、公民館や保健センター等で実施していたが、今年度は、寄付金を活用させていただき、伊方町「瀬戸アグリピア」において、実施計画の打合わせ会を一泊二日で行なうことができた。

公民館とは違って、施設も充実しており、子どもたちの交流はもろんのこと、会員同士の親睦も今まで以上に深めることができた。

今後も、ドネーションパーティー等の寄付を活用させていただければ、子どもたちの自己負担の軽減にもつながり、より多くの子どもたちが参加しやすくなり、活動に役立つため、来年度もぜひ、ドネーションパーティーを実施してもらいたい。小チャレ

数年前からスタッフ不足により、八代中や高校生(八高・八工高・川高)にボランティアスタッフとして参加を呼びかけていますが、今年は中高生あわせて85人の希望者があり、おやじスタッフ35名とで120名のスタッフで運営をしました。スタッフが多くて大変でしたが、スタッフの飲み物や夕食等に思わぬ経費が必要となったため、この寄付金を活用させていただきました。特に、お化け屋敷のお化けスタッフは飲み物なしでは、とても耐えられない暑さで大変でしたので、本当に助かりました。それでも満足いくような接待はできませんでしたが、気持ちのいい中高生の皆さんで本当に楽しく、一緒にイベントを成功させることができ、大変感謝しています。ドネパに寄付して頂いた市民の皆さん、ボランティアスタッフとして協力してくださった中高生の皆さん、

本当にありがとうございました。おやじ隊



第1回ドネーションパーティー エントリー団体のみなさん、初めての試みにもかかわらずご参加ありがとうございました。こうして2回目を開催できるのもみなさんのご理解とあたたかいご支援のおかげです。みなさんからの貴重な意見を踏まえ、今回の「ドネーションパーティー2009」はドネーションパーティーという言葉がたくさんの方々に広め、八幡浜で活動している団体をもっと知っていただくと同時にどのような形でもかまわないのでその団体と関わっていただくことがねらいです。地域のみなさん！八幡浜にはこんなにあたたかい団体がたくさんあります。あなたの気持ちのこもった100円の応援券をお待ちしています。

YGP(八幡浜元気プロジェクト)

世代間交流事業 責任者 鈴木 磨美